

2022年度行動計画

【コンセプト】将来像を議論・明確化・共有
Vision Compass 2030から将来像と具体的な施策を作成し共有、一丸となり取り組む。

中長期経営計画

2022年度行動計画項目

大項目	小項目	実施項目	具体的行動・実施事項	リーダー	主担当会議	主担当部門	協力部門	1Q	2Q	3Q	4Q	KPI指標	目標値	2022年度	短期～2024	中期～2029	長期2030～			
1. 独自性・優位性ある教育力の向上と内部質保証	(1) 時代と社会の要請に応えるテクノロジスト育成教育の質の向上	1) 教学マネジメントを促進する体制の確立	① 教学マネジメント室と教務委員会との連携による教育の質向上に向けた取り組みを実施 1) 新しい制度の実行 ・進級制度、ルーブリック、IRデータの展開、学生面談情報の共有等 ・主専攻・副専攻の詳細設計	横山	教学マネジメント室	教務委員会 教務課		← 実行・検証・改善検討 →	← 詳細設計 →			必修科目合格率	100%	スタート	検証改善	評価フィードバック				
		2) ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの明確化・共有																		
		3) AI、IoT等の新技術にも対応できる将来のテクノロジストを育成するためのカリキュラム改革	② 教養教育センターのスタートアップ 1) 教養科目の実施と検証 2) センター事業実施(外部連携・アントレプレナーシップ教育)の計画と実施	澤本	教養教育センター	センター+教務課		← 教養科目実施・検証・改善検討・提案 →	← 事業計画 →	← 実施 →					検討	実施	成果検証			
		4) 教学IRを活用した学修成果の可視化、アセスメント・ポリシーの明示と教育サポートシステムの充実	③ 数理・データサイエンス・AIプログラムの計画	横山 荒木	教学マネジメント室	データサイエンスWG	教務委員会+教養教育センター		← プログラム案作成 →	← 内容決定 →	← シラバス作成 →	← 実施準備 →				スタート	検証改善 2)計画	2)に移行		
	(2) 魅力ある学科、コース、大学院等の展開	5) 1-1情報メカトロニクス学科新カリキュラムの実施・検証・改善 1) 進行中の新旧のカリキュラムを確実に実施する。 2) 新学科の学生の志向を把握し、コースの在り方を検証する。 3) 教員の担当可能分野を調査し、教員補充計画へ反映させる。 ⑤-1-2学科の魅力向上を促す取組み 1) オープンキャンパスの展示・案内を見直す。 2) 卒業研究の一層の活性化を図る。 3) 情報系の学生プロジェクトの立ち上げを促す。	⑤-1-1情報メカトロニクス学科新カリキュラムの実施・検証・改善 1) 進行中の新旧のカリキュラムを確実に実施する。 2) 新カリキュラムの効果を把握し、コースや科目の在り方を検証する。 3) 教員の担当可能分野を調査し、教員補充計画へ反映させる。 ⑤-2-2学科の魅力向上を促す取組み 1) オープンキャンパスの活性化を図る。 2) 広報と連携し研究や学生の取り組みなど情報発信を促進する。	原	学科会議	情報メカトロニクス学科 教務課	広報係+就職IS係	← 教員の分野調査、現行補充計画の確認 →	← 展示室の改善 →	← 卒研システムの見直し・実行 →	← コース配属の分析 →				スタート	検証と提案	改善			
				田尻	学科会議	建設学科 教務課	広報係	← 教員の分野調査、現行補充計画の確認 →	← オープンキャンパスの活性化 →	← 広報と連携した情報発信 →	← コース配属の分析 →	← オープンキャンパスの参加者数 →	← 入試課の目標値(参加者数)に準ずる →			ポイント整理	発展方向検討	推進		
		6) 休退学者削減施策	⑥ 休退学者低減に向けた取組み 1) 担任の定期的な面談の実施による、適時の退学希望者の特定および指導の強化 2) IRデータの分析に基づく、施策の立案実行 ⑦ 入学前教育の計画、実施による早期教育と高大接続の強化	⑤-3 大学院活性化に向けた取組み 1) 社会人向けコースの検討 2) アントレプレナーシップ教育の検討	横山	教学マネジメント室	大学院 教務課		← 検討実施 →							検討	実施	検証改善	発展	
					大塚	退学者対策部会	各学科 教務課	入試課	← 面談実施、対象特定・指導強化 →	← データ分析・立案実行 →	← 計画・高校との調整 →	← 外部教材契約 →	← 入学前教育実施の事前研修 →	← 総括 →	4年間退学率(除籍者含む)	10%台維持	スタート	検証改善	評価フィードバック	
	2. 充実した就職支援と学生生活のサポート	1) 留学生、障がい者等、個別の対応強化及び支援制度の充実	① ふれあいルームと教職員の連携による支援強化 ・長期の休み明けなどにアンケート調査、悩みのある学生サポート	高橋	学生・留学生委員会	学生課		← 実施 →							実施	検証改善	検証改善	検証改善		
			② 障害のある学生への支援体制の充実 ・ふれあいルームカウンセラー、教職員が連携	高橋	学生・留学生委員会	学生課		← 実施 →								実施	検証改善	検証改善	検証改善	
			③ 留学生の月1回の対面式在籍管理により、問題を早期に洗い出し実施 ・新年度のオリエンテーションなどで重要性を周知 ・対面できめ細かく接することで問題を早期に洗い出し	高橋	学生・留学生委員会	学生課		← 実施 →								実施	検証改善	検証改善	検証改善	
			④ 留学生の日本語能力向上に向けた新たな方法の検討・実施 ・日本語能力向上により就職にスムーズに結び付ける。	高橋	学生・留学生委員会	学生課		← 検討 →	← 実施 →							実施検討	検証改善	検証改善	検証改善	
2) 経済支援制度の多様化による学生への支援の充実		⑤ 新たな学修支援制度の周知とコロナ禍に対応する独自奨学金制度の検討 ・日本学生支援機構奨学金の説明会2回/年(4月と10月)実施し、奨学金制度を周知する。 ・独自奨学金の募集について、より多くの学生の支援ができるよう2回実施する。 ⑥ 奨学金情報のメールでの周知やホームページへの掲載や地方自治体・団体による奨学金情報を収集し、多くの情報提供を推進 ・日本学生支援機構奨学金、ものづくり大学独自奨学金等の情報の周知	⑤ 新たな学修支援制度の周知とコロナ禍に対応する独自奨学金制度の検討 ・日本学生支援機構奨学金の説明会2回/年(4月と10月)実施し、奨学金制度を周知する。 ・独自奨学金の募集について、より多くの学生の支援ができるよう2回実施する。 ⑥ 奨学金情報のメールでの周知やホームページへの掲載や地方自治体・団体による奨学金情報を収集し、多くの情報提供を推進 ・日本学生支援機構奨学金、ものづくり大学独自奨学金等の情報の周知	高橋	学生・留学生委員会	学生課		← 実施 →							実施	検証改善	検証改善	検証改善		
				高橋	学生・留学生委員会	学生課		← 実施 →								実施	検証改善	検証改善	検証改善	
3) キャリア育成の充実による学生のモチベーションと卒業満足度の向上		⑦ 社会情勢の変化に合わせた就職支援プログラムにより、学生の将来像に沿った就職先に就職できる支援を強化 ⑧ 就職力強化合宿や企業研究交流会などに、卒業生や企業担当者との交流の機会設定 ⑨ 長期インターンシップの延期などによる就職活動や卒業研究などの障害となり得る状況にある学生への個別支援等の配慮 ⑩ 学科向けの学生の希望に合ったインターンシップ先の新規開拓等 ⑪ 就職活動の活動状況二極化に対応するため、教員との情報共有を密にし、個別支援の必要な学生の洗い出しなどを早期に対応できる方法を構築 ⑫ 個別企業見学会などを有効に活用し、就職意識の希薄な学生に対し、意識付けを行い、その後のフォロー体制を構築して個々に合った就職先に就職できるよう支援	⑦ 社会情勢の変化に合わせた就職支援プログラムにより、学生の将来像に沿った就職先に就職できる支援を強化 ⑧ 就職力強化合宿や企業研究交流会などに、卒業生や企業担当者との交流の機会設定 ⑨ 長期インターンシップの延期などによる就職活動や卒業研究などの障害となり得る状況にある学生への個別支援等の配慮 ⑩ 学科向けの学生の希望に合ったインターンシップ先の新規開拓等 ⑪ 就職活動の活動状況二極化に対応するため、教員との情報共有を密にし、個別支援の必要な学生の洗い出しなどを早期に対応できる方法を構築 ⑫ 個別企業見学会などを有効に活用し、就職意識の希薄な学生に対し、意識付けを行い、その後のフォロー体制を構築して個々に合った就職先に就職できるよう支援	高橋	就職・インターンシップ委員会	学生課	各学科	← ⑦プログラム検討 →	← 保護者会セミナー →	← ⑧日程等検討/企業との調整 →	← ⑨個別対応/インターンシップ実施 →	← ⑩新規開拓 →	← 検証 →			実施	検証改善	検証改善	検証改善	
				高橋	就職・インターンシップ委員会	学生課	各学科	← ⑪就活未定者個別面談 →	← ⑫見学会実施 →	← 個別支援 →	← ⑪就活未定者個別面談 →	← ⑫見学会実施 →	← 個別支援 →	← 状況調査 →			実施	検証改善	検証改善	検証改善
				高橋	就職・インターンシップ委員会	学生課	各学科	← ⑪就活未定者個別面談 →	← ⑫見学会実施 →	← 個別支援 →	← ⑪就活未定者個別面談 →	← ⑫見学会実施 →	← 個別支援 →	← 状況調査 →			実施	検証改善	検証改善	検証改善
				高橋	就職・インターンシップ委員会	学生課	各学科	← ⑪就活未定者個別面談 →	← ⑫見学会実施 →	← 個別支援 →	← ⑪就活未定者個別面談 →	← ⑫見学会実施 →	← 個別支援 →	← 状況調査 →			実施	検証改善	検証改善	検証改善
3) 志願者の質の確保と安定的定員の確保		1) アドミッション・ポリシーの明示と共有 2) 多様な入学試験の実施、学力の3要素をはじめ多面的な評価の推進	① 入試制度改革の推進 1) 受験生の多様化等の情勢、受験生の動向、文科省が示す方向性、指導要領の改訂等に対応した入試制度改革(入試内容の変更、新入試の追加、試験日程の検討、学内併願方法の周知など) 2) 受験機会の確保、手続きの簡易化、受験に関する優遇措置等、受験生の便宜を図ること、志願者増を企図する施策	高橋	入試委員会	入試課		← 準備 →	← 公表・周知 →	← 出願手続・入試実施・合否処理 →	← 分析・次年度計画 →		出願者数 入学者数	870名 300名	実施	検証改善	検証改善	検証改善		

2022年度行動計画

【コンセプト】将来像を議論・明確化・共有
Vision Compass 2030から将来像と具体的な施策を作成し共有、一丸となり取り組む。

中長期経営計画

2022年度行動計画項目

大項目	小項目	実施項目	具体的行動・実施事項	リーダー	主担当 会議	主担当 部門	協力 部門	1Q	2Q	3Q	4Q	KPI指標	目標値	2022 年度	短期 ～2024	中期 ～2029	長期 2030～	
		3) 高校生対象イベント、オープンキャンパス等の充実	② 学生募集対策の充実 1) 受験生が直接大学を見る機会・イベントの充実(オープンキャンパス、進学相談会、大学見学会、参加者へのフォロー強化など) 2) 学外で受験生に直接説明する機会・イベントの充実(校内説明会、会場ガイダンス、資料頒布会など) 3) 非接触の受験生等への周知(業者名簿や模試データを活用した広報、DM・WEBの活用、交通・新聞等の不特定多数への広報など) 4) 女子対策(女子学生スタッフの活用、ガールズノート、実習体験教室、女子スカラシップ入試など) 5) 留学生対策(日本語学校フォロー、経済的支援の継続、留学生Webサイトの活用)	高橋	入試委員会	入試課	各学科		実施			オープンキャンパス参加者数(高3) ガイダンス面談者数	400名 3000名	実施	検証改善	検証改善	検証改善	
		4) 出身高校へのフィードバック、高大連携等の充実	③ 高校へのフィードバック、高大連携の充実 1) 高校訪問の充実(出身学生の状況報告、訪問地域の拡大と集中、本学への理解醸成など) 2) 高校教員対象説明会の実施 3) 埼玉高進情報交換会、千葉県工業系高大連携推進委員会等への参加 4) 高校生インターンシップの受入れ 5) 出前授業の実施	高橋	入試委員会	入試課	各学科		実施		分析・計画	高校訪問件数	3000件	実施	検証改善	検証+T23:U24改善	検証改善	
2. 特色ある研究・社会貢献活動	(1) 産学官金連携した教育・研究	1) 共同研究等の研究活性化とその支援	① 各種展示会や支援団体のイベントでの大学及び産学官連携研究テーマのアピール	荒木	もの研運営委員会	もの研事務局	各学科	準備・展示会	準備・発表会等		展示会・総括	展示会出展回数 企業等訪問回数	2回 50回	情報収集	実証			
			② 地域・業界団体、企業訪問による個別広報活動	荒木	もの研運営委員会	もの研事務局	各学科		随時企業・団体等訪問			技術相談件数 共同研究等件数	70件 50件	企画	検討	実施	検証	
		2) 就業者等社会人のための新たな教育の検討・実施	③ 研修内容等への多様な意見を踏まえ、製造関連、建設関連の各プログラムを実施	荒木	もの研運営委員会	もの研事務局	広報係 学生支援係	ニーズ把握・準備	実施	実施		社会人教育プログラム開講回数	2回	情報収集 企画	実施	検証改善		
			④ 企業のニーズを把握するため強かにヒアリング等を拡大実施	荒木	もの研運営委員会	もの研事務局			検討・業界ヒアリング			企業等訪問回数(再掲)	60回					
		3) 科学研究費等の獲得支援	⑤ セミナー等の実施やアドバイザーによるブラッシュアップなど年間を通じた学内での科研費獲得のための支援体制の構築	荒木	もの研運営委員会	もの研事務局	各学科	(任意)	セミナー・研修(集中)	ブラッシュアップ(任意)		科研費申請件数	10件	実施	検証改善			
		4) 知的財産の創出及び適切な活用	⑥ 職務発明等の円滑な手続き支援及び出願費用予算の継続措置							随時		特許出願件数	3件					
	(2) 社会・地域・国際貢献	1) 子ども大学、公開講座、リカレント教育等の継続	① 彩北未来プロジェクト及び三大学連携事業の実施(三大学合同研究発表会等) ② 連携協定締結事業等の実施(子ども大学、公開講座等) ③ 単発開催事業の実施(講演会、ものづくり教室等)	大垣	地域連携推進・渉外室	広報・地域交流係			実施			分析	① 実施数 ②・③ 満足度	① 10件 ② 80%	ニーズ把握	着手	展開	成果
		2) 大学見学会、大学開放・貸出の継続	④ 大学見学会等新型コロナウイルスの状況を見つつ継続実施						実施									
		3) 海外のものづくり人材育成プログラムの推進	(国際交流関係は、当面新規計画見送り)															
	3. 大学運営基盤の強化	(1) 価値創造に向けたブランド広報	1) 入学から卒業までのPR効果の高い情報を提供する大学広報の実現	① 学生募集をサポートするデジタルコンテンツの整理と強化 ・SNSの求心力を有効活用 ・Webサイトの改善(大学サイトとは別に高校生・受験生応援サイトを開設) ・SNSの効果的配信(最適なタイミングで効果的な配信を学内に共有) ② 定期的配信と報道機関との良好な関係を構築	大垣	広報委員会	広報・地域交流係	入試課		提案および実施		分析	① 提案件数 実施件数	① 提案5件 実施3件	実施	検証改善	発展	
			③ 全教職員広報戦略の取組み 学内広報に向けた計画・立案および周知活動 ④ 学外広報に向けた計画・立案および周知活動	大垣	広報委員会	広報・地域交流係	入試課		実施	分析		② 配信数	② 30件	情報整理 企画	実施	検証		
2) ブランド展開のための広報手法の開発			③ 全教職員広報戦略の取組み 学内広報に向けた計画・立案および周知活動 ④ 学外広報に向けた計画・立案および周知活動	大垣	広報委員会	広報・地域交流係		課題洗い出しおよび実施		分析	③ 研修会開催数 ④ 配信数(9つのPJ+大会)	③ 2回 ④ 45件	検証	改善 展開				
3) Webサイト、SNS等のデジタルメディアをメインとした広報活動の拡充			⑤ Webサイトの運営と改善 ⑥ SNS運用と改善 ⑦ サイトへの集客施策実施	大垣	広報委員会	広報・地域交流係		実施		分析	⑤ HP新着数 ⑥ SNS新着数 ⑦ HP訪問数	⑤ 300件 ⑥ 800件 ⑦ 48万件	検証	改善 展開				
(2) 内部質保証、改革を進める組織力向上と人材育成		1) 組織目標の合意形成・決定手法の確立	① Vision Compass 2030の具体的展開 1) わかり易い将来像の提示 2) ロードマップの作成 3) 全教職員一丸となった取組(若手教職員のリードも必要)	大島(小塚)	経営戦略会議	総務課	全学		将来像検討			共有			情報整理 企画	実施	発展	
		2) 教員・職員の業績評価の確立及び適正な運用	② 業務・運営効率化に向けた改善推進	大島(小塚)	経営戦略会議	総務課	全学	課題洗い出し			提案							
		3) 働き方改革への取組	1) 会議体、運営見直し 2) ルーチン業務の見直し、外部委託等の検討 3) デジタルツールの活用	大島(小塚)	経営戦略会議	総務課	全学	デジタル活用事例検討			提案							
		4) SD・FD・FSD等、教職員の研修体制の整備、向上	③ 自己評価による運営力強化の取組み 1) 2022年度の自己点検評価書による認証評価の受審とその結果の次期計画への反映 2) 次の時代を見据えた課題に対応するFSDの推進	大島(小塚)	自己点検評価室	総務課	全学		認証評価・受審				行動計画へ フィードバック		実施	検証 レベルアップ		
(3) 持続可能な財務力と施設の向上		1) 学納金及び補助金の確保、寄付金収入の受入増	① 寄付募集の展開/FANをつくる活動 1) 学納金を確保のため、入学者の確保に向けた戦略をサポート 2) 補助金の確保のため、改革総合のタイプ1を取りに行く戦略を検討する。 3) 寄付募集の充実展開によるファン&サポーターを作る取組み 4) 現物寄付についての戦略を立案する。	大島	経営戦略会議	総務課	広報係			1)2)戦略サポート					企画	実施 検証	定着化	
		2) 適正な人件費比率の確保及び一般経費の支出抑制	② 施設・設備の更新・整備費を踏まえた財務戦略の立案・黒字の継続達成に向けた財務戦略の継続実施	大塚	財務マネジメント室	総務課		財務方針立案・共有	実施			振返り			企画	実施 検証	発展	改革
		3) 施設・設備修繕の中長期計画の策定・実行	③ 施設・設備の更新・整備戦略・費用の検討、体制整備 1) キャンパス整備マスタープラン2040の策定への取組み開始 2) 研究設備マスタープラン2040の策定への取組み開始	三原	施設設備計画部会	総務課		調査	(案)検討	ヒアリング	プラン作成				情報収集 着手	実施	実施 検証	発展
		4) 防災・危機管理・法令順守のための体制の整備拡充	④ 情報システムの検討(システムスペックの向上と大幅なコストダウン)の検討と実施 1) 事務支援システムの検討 2) ネットワークシステムの検討 3) 学内映像システムの検討 ⑤ 危機管理体制整備と強化(水災・感染症・情報セキュリティ等)	三井	情報環境整備WG	情報係	施設係		1) 事務支援システムの更新検討・方針決定 2) ネットワークシステムの更新検討 3) 学内映像システムの更新検討				情報システムの 見直しによるコスト ダウン ▲155,000千円		企画	実施	検証 改善	
			⑤ 危機管理体制整備と強化(水災・感染症・情報セキュリティ等)	大島	危機管理委員会	総務課	全学	マニュアルの見直し			振返り			訓練 実施	検証 改善	定着化		